

会 議 録

会議の名称	第3回津山地域学校再編準備委員会		
開催日時	令和元年10月 9日(水)		
	午後 7時00分 開会		
	午後 8時30分 閉会		
開催場所	津山老人福祉センター 2階集会室		
委員出席者	佐々木 大 輔	委員長	津山中学校PTA会長
	佐 藤 良 紀	委員	柳津小学校PTA会長
	遠 藤 貴	委員代理	横山小学校PTA副会長
	今 野 政 雄	委員	津山中学校学校運営協議会長
	林 三 治	委員	柳津小学校学校運営協議会委員
	浅 野 茂 美	委員	横山小学校学校運営協議会長
	阿 部 篤 雄	副委員長	津山町行政区長会副会長
	佐々木 江 梨	委員	つやま幼稚園保護者会長
	阿 部 宗 幸	委員	杉の子保育所保護者会長
事務局出席者	小 林 和 仁		学校再編推進室長
	岩 淵 裕 喜		学校再編推進室学校再編推進係長
	菅 野 雅		学校再編推進室主事
	佐 藤 鷹 彦		学校再編推進室主事
傍聴者	0名		
議事	(1) 学校再編の実施について (2) 統合校舎の位置について		
挨拶	事務局	開会 午後7時00分	
	委員長	開会挨拶	
	事務局	議事に入る前に、前回及び今回の議事の内容の確認を行う。担当から説明させていただく。	
	事務局	(担当より内容を説明)	
	事務局	前回の会議録について、お渡しした内容で公開してよいか。 (異議なし)	
	事務局	意見がないようなので、議事に入らせていただく。進行については、佐々木委員長にお願いする。	
	委員長	議事1 学校再編の実施について事務局へ説明を求める。	
	事務局	(資料に基づき学校再編の実施について説明)	
委員長	検討に入る前に各委員から、9月に実施したアンケートの調査結果について、報告を行っていただく。 (各委員から調査結果を報告)		

委員長	各委員からの報告が終わったので、学校再編の実施について、準備委員会としての意見集約を行いたい。まずは、小学校の再編について、何か意見はあるか。
委員	幼稚園及び保育所の保護者の意見の中に校舎を見たことがないので、判断できないという意見があるがもっともな意見だと思う。
委員長	区長会の方で何か報告を受けているものはあるか。
委員	前回の会議から今日までの間に、区長から学校再編について、住民から意見があったという報告は現時点では受けていない。ただ、以前から学校再編については、一義的には、保護者の意見を尊重するといった考え方を持つ方は多い。
委員	機会を設けて校舎を見学することができれば良い。
委員	アンケートの結果を見ても様々な意見を持つ方がいることを改めて実感した。児童数の関係上、統合の実施については多くの方が賛成となっているが、その中でも位置、通学、災害対策といった問題が存在している。今後、統合を実施するとした場合はいかにしてこれらの意見を取りまとめ理解を得るかが重要だと思う。
委員長	他に意見はあるか。 (意見無し)
委員長	それでは、小学校の再編については、先ほどの報告及び意見から柳津小学校と横山小学校の統合を実施する方向性で本委員会の中で今後の検討を行っていくことでよろしいか。 (異議なし)
委員長	今後は、再編を実施する際の場所等の具体的な内容について検討を行っていく。次に中学校の再編について検討を行うが、事務局から説明があるとのことなので説明を求める。
事務局	(中学校の再編について説明)
委員長	今の説明を踏まえて何か意見はあるか。
委員	人数が減り続ければ仕方がないという部分もある。考え方的には小学校の再編が終了したら中学校の再編に着手するということか。
事務局	着手時期について、具体的な日付をこの場でお示しすることはできないが、小学校の再編を行っている間に方向性について検討を行い、早めにお示ししたい。

委員	となるとやはり小学校が終わってから中学校となるのか。
事務局	場合によってはそうなる。
委員	大体5年後くらいか。
事務局	中学校の再編をしなければ小学校の再編が進まない場合も考えられるので、そのような場合は同時進行も考えられる。
委員	中学校の再編についても生徒数の減少を考えると当然必要と思うが、小学校の再編を実施した後に、続けて中学校の再編を実施することとした場合、小学校の時に再編を経験した児童が、再び中学生の時に学校統合を経験すると、一部の子どもに対して負担感が大きくなる。再編を進めたい気持ちは分かるが子どもの気持ちが追い付かないと思う。その部分についてうまくコントロールしていただければと思う。
事務局	先の展望を見せることが重要と考えている。先が分かればそれに向けた準備もしやすいと思うので、情報を発信しながら進めていきたい。
委員	ビジョンを見せながら、環境がどのように変わるのか子ども達にも説明を行う必要があると思う。
事務局	時期については、子どもの負担について考慮しながら検討したい。
委員	再編が必要ということについて異論はないが、実施するとなった際の場所の問題について、中学校はおおよそ町の中心となっている。中学校が統合となれば空いた校舎を小学校にする方法も考えられることから、中学校も併せて進めることができればと思う。アンケートを見ると災害関係についての意見が多く見受けられるが柳津小学校、横山小学校ともに問題がある中でどちらがふさわしいか決めるのは難しい。
事務局	位置については、今後の検討の中で意見をいただければと思う。それに先立ちまずは、中学校の再編の必要性についてご検討をいただければと思う。
委員	先ほどの意見にもあったが、子どもの気持ちが大事だと思う。近い将来中学校の再編は必要になるとしても時期については、よく考える必要がある。
委員	現時点で津山中学校では生徒数が少ないことにより部活動に影響が出ているので、今通っている生徒たちのことを思うと解消してあげたい気持ちもあるが、小学校から入学してくる子どものケアについても考える必要があるので、再編の時期についてはよく検討する必要がある。
委員長	複数意見が出ているが、中学校の再編の方向性についてだが、アンケートや先ほどまで出た意見を聞いても再編が必要ということによいか。

	(異議なし)
委員長	それでは中学校の再編について、現時点では、時期がいつになるかは分からないが再編を進めていくこととする。
委員長	以上で議事1「学校再編の実施について」の協議を終了する。次に議事2「統合校舎の位置」の協議に入る。事務局に説明を求める。
事務局	(資料に基づき統合校舎の位置について説明)
事務局	今の説明に加えて校舎の新築について説明させていただく。
事務局	(校舎の新築について説明)
委員長	説明が終わったので検討に入りたい。
委員	避難所機能の部分で見ると両校者とも本当に適しているのか疑問である。横山小学校については土砂災害、柳津小学校については北上川が氾濫した際に被害を受けることになる。また、アンケートの意見にもあったが、学校、児童館、高齢者向け施設を含めた一体的な整備はできないものか。学校再編と町づくりを併せて考えるべきだと思うが準備委員会の中だけでそこまで検討することは難しいので、準備委員会の中である程度の意見を出した後に教育委員会で判断を行い、住民に対して理解を得るための説明を行うことはできないか。いずれにしても難しい問題となる。
事務局	再編実施計画の作成については、準備委員会の中でいただいた意見を基に教育委員会で作成し、皆様から合意をいただく形で進めていく。
事務局	資料では、校舎に一般的に必要な機能をお示ししている。この資料と以前お渡しした相対評価表を使い、項目ごとに具体的な比較検討を行っていただければと思う。また検討を行う上で必要な情報については、随時提供を行う。
委員	教育委員会としては、条件を満たした校舎の新築が可能なのか。それとも今ある校舎を利用することになるのか。
事務局	既存校舎の活用を基本としている。もし、既存校舎に耐震性、教室の数が足りないなどの問題があり、修繕、増築等でも対応が不可能となった場合は、新築について検討を行わなければならない。
委員	どうしても自分の地域を推す意見が多く出てくることが考えられるので、その方たちにどう納得していただくか。
事務局	様々な立場の意見があることから、妥協していただかなければならない部分も出てくる。
委員	アンケートの意見にもあるが一度校舎を見てから検討に入る方がよい。

事務局	校舎を見ていただくことで新しく意見が出ることもあるかと思う。また、いずれの校舎を利用するにしても、必要な修繕等を行っていくので現状の校舎をそのまま利用するというわけではない。
委員長	<p>具体の検討については、校舎を見てからということによいか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員	基本は、柳津小学校か横山小学校のどちらかということか。
事務局	既存校舎の活用を第一としている。
委員	その部分をはっきりさせた方がよい。その上で柳津小学校の良い部分、横山小学校の良い部分などを比較した上でどちらかを選択する。
委員	まず新築できるか、できないかをはっきりして欲しい。
事務局	校舎の状況を調査してから判断をする必要があるので、現時点で絶対に建てる、建てないと言うことはできない。
委員	既存校舎のいずれも使用できなくなれば新築の検討に入るのか。
事務局	既存校舎で対応できないとなればそうなる可能性はある。また、既存校舎を大規模改修しても、建物の長寿命化が図られず、新築を行った方が費用対効果が望めることも考えられるので調査後でないと、判断はできない。
委員	今回、既存校舎を活用したとして、20年後に45人という数字が出ているが、そうなった際にまたどうすべきか検討することになる。一つの案としてだが、今回の統合で50人前後の児童数を想定した校舎を建て児童数が減少しても継続して使用できるようにすることも可能かとも思う。
事務局	校舎の建築に当たっては、児童数の推移、利用期間等を精査する必要があることから、慎重に判断しなければいけない
委員	であれば教育委員会として、既存校舎の活用を前提として検討するように方向性を示した方が、検討がしやすいと思う。
委員	自分の地域の方が良いといった意見はあるが、比較を行っていく中で理解を得られるような段階を踏んでいく必要がある。準備委員会の中だけで検討した結果どちらかの校舎を利用しても後で不満が出ることになると思う。そうならないように全ての人は無理でも、可能な限り多くの方が納得できる方法をとったほうがよい。
事務局	今回の再編については、教育委員会で決定した事項を一方向的に示すのではなく、準備委員会でより多くの住民の意見を聞いた上で再編の実施、校舎の位置などを決定する。当然、決定を行うのは教育委員会となるが準備

	<p>委員会の中で出た意見をまとめていただき、それを基に教育委員会で最終的な決定を行う。現時点で判断するための材料が足りていないのであれば、必要な情報については教育委員会からお示しますのでそれを基に検討を行っていただければと思う。</p>
事務局	<p>先ほどお話のあった校舎の見学について、実施する際は、教育委員会の方で学校に対して依頼をさせていただき、校舎の開放時間、教員の対応可能な時間帯などを調整し、調整でき次第、委員の皆様にご通知させていただく。</p>
委員長	<p>議事2については、次回以降に比較用の資料等を準備した上で検討を行うことでよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局	<p>比較の資料についてだが、以前お渡しした相対評価表の項目以外に比較したい項目があれば、この場で意見をいただければ準備させていただく。</p>
委員	<p>比較するための資料もだが、それと併せて現場の教職員の方の声も聴ければ非常に参考になる。防災面や、避難の際など現場の方が把握している情報も提供して欲しい。</p>
事務局	<p>そちらについては、校舎を見学する際にお話ししていただけるよう学校側に協力依頼をさせていただく。</p>
委員	<p>校舎を見に行く際は、準備委員会として見に行くことになるのか。保護者の方に見てもらえるようになるのか。</p>
事務局	<p>事務局では準備委員会として見学する方向性で考えている。もし、保護者ということであれば、どの範囲までにするのかを決めたい、保護者全員の受入れとなると学校側でも対応が困難になるかと思う。</p>
委員	<p>理想は全員だが、せめてPTAの執行部の方には見てもらいたい。</p>
委員	<p>PTAの事業の中で行うことは可能か。</p>
委員	<p>今年度となると難しい。</p>
事務局	<p>日中に時間を合わせるのも中々難しいと思う。校舎の状況を見るのであれば、図面、写真等で行うという方法も考えられる。</p>
委員	<p>やはり直接見ないと分からないと思う。</p>
委員	<p>一番心配なのは設備の状況や修繕箇所よりも災害があった時のことだと思う。両方の校舎にも良い部分はあると思うが、逆に欠点について耐震面や防災面の状況、市としての今後の対応を説明した上でないと保護者達が安心できないと思う。津山地域では大雨が降った際に道路が冠水し、通</p>

	<p>行止めになったことがあるが、統合後に同じ事態になった際、どのように対応するかも検討する上では重要になる。校舎にどのような欠点があるのか、市としてはどのように改善していくか示さないことには保護者の理解を得るのは難しいと思う。</p>
事務局	<p>それでは校舎の見学については、学校側と調整させていただく。参加者の人数についてだが、学校の都合を考えると保護者全員での参加は難しいと思うがどうするか。</p>
委員長	<p>その部分については、学校側と調整を行っていただき受入れ可能な人数を指定していただければと思う。また、新築か既存校舎の活用かの方向性について、教育委員会の方向性を示してほしい。比較資料については、本日の資料に記載されている項目を基に作成していただければと思う。</p>
委員	<p>質問だが、つやま幼稚園と杉の子保育所が今年度で閉園となり、来年度から今のつやま幼稚園の位置に新しいこども園ができるが、それによって横山地域に保育所がなくなるので小学校は横山地域に統合するといった話が保護者の中で出ているが、教育委員会の中でそのような案はあるのか。</p>
事務局	<p>確かに来年度から柳津地域で新しくこども園が運営され、横山地域から保育所がなくなることになってしまうが、再編後の小学校の位置についてはあくまで準備委員会の中で検討いただきそれを基に教育委員会で決定する。地域間のバランスをとるために小学校の位置を決定するということはない。</p>
委員	<p>やはりそういった疑念を持たれないように、説明し理解を得ることが重要になる。</p>
事務局	<p>必要な情報については、お示しするようにしたい。</p>
委員長	<p>今までの内容をまとめさせていただく。校舎の見学については、教育委員会と学校側で調整を行う。比較するための資料について、相対評価表以外に本日の資料を基に、具体的なものを作成する。校舎の新築の考え方について、教育委員会としての方向性を示していただく。以上となるがその他に意見等はあるか。</p>
委員	<p>横山小学校などの土砂災害のおそれのある地域について、どのような予防措置を講じているのかも検討を行う上で重要になると思う。それが分からない状態ではどちらを利用するか決めるのは難しいと思う。</p>
事務局	<p>そのような情報も含めた上で資料作成を行いたい。</p>
事務局	<p>防災についての話が出ているのでそれに関連して津山地域の避難所について、以前防災課に問い合わせを行った際の回答を参考までにお話しさせていただく。現在、横山地域内については、大雨時に利用できる避難場所がない状態となっているが、現時点で横山地域内に新たな避難所を設置</p>

	<p>する予定はなく、災害時については、柳津地域内の避難所に誘導することで対応するとしている。大雨や洪水については、事前に予測することができるとのことから、早い段階から情報収集や情報発信を行うことで対応することである。</p>
委員	<p>早い段階からの対応を行うとのことだが、実際に日本全国で豪雨等により死亡者が出ている事実があるので、緊急の際の対応についてはよく考える必要がある。</p>
委員	<p>津山地域については、道路が冠水したことにより、柳津地域と横山地域が分断されてしまった過去がある。</p>
委員長	<p>津山地域は、過去に何度か水害が発生している地域であるので、検討をする上ではその部分を考慮する必要がある。他に意見はあるか。</p>
委員	<p>アンケートの意見にもあったが、中学校の校舎の利用については可能なのか。</p>
事務局	<p>小中一貫校という意味であれば、教育委員会としては、学年単学級の中学校を地域に残すための小中一貫教育の導入は考えていませんが、独立した小中学校が同一の校舎を利用することは可能です。</p>
委員	<p>雄勝小中学校はそのような形になっていたと思う。</p>
事務局	<p>登米市内でも新田小中学校がそれにあたる。</p>
委員	<p>仮にそのように運営するとして、校長先生などの配置はどうなるのか。</p>
事務局	<p>基本的に別々に配置する。</p>
委員	<p>1つの校舎を利用するとなるとグラウンドなどの使用の際に調整が必要になる。</p>
事務局	<p>体育館、グラウンド等については授業以外に部活動などとの調整も必要にはなる。</p>
委員長	<p>校舎の位置決定については、先ほどもお話ししたが、どのような状態になったら新築の検討を行うようになるのかお示しいただければと思う。議事2について外に意見はあるか。</p> <p>(意見なし)</p>
委員長	<p>それでは議事3その他に入る。事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>次回の会議日程についてだが、校舎の見学があることからそれ以降の開催ということによいか。</p>

		(異議なし)
	事務局	それでは、第4回の会議日程については校舎見学後に調整させていただきます。
	委員	今度、学校運営協議会が開催されるので、アンケートの結果や今回の会議について委員に説明をしたいので概要の分かる資料をいただきたい。
	事務局	今回の会議について、「学校再編だより」を作成することになるのでそちらをお渡しする。
	委員長	その他に何かあるか。
	委員長	(意見なし)
	委員長	以上で第3回の会議を終了する。
		閉会 午後8時30分